

株 主 の 皆 様 へ

2005年度事業のご報告

第106期 2005年4月1日から2006年3月31日まで

日本特殊陶業株式会社

証券コード 5334

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本特殊陶業グループの第106期（2005年4月1日～2006年3月31日）の事業および現状についてご報告申し上げます。

■当期の連結業績と次期の見通しについて

第106期は、売上高が前期比18.1%増の2,848億84百万円となりました。営業利益は前期比59.1%増の415億13百万円、経常利益は前期比55.6%増の431億30百万円、当期純利益は前期比46.4%増の251億4百万円となり、売上高、利益とも2年連続で過去最高を更新しました。

第107期（2006年4月1日～2007年3月31日）の見通しについては、売上高3,070億円（前期比7.8%増）を予定しています。原油や鉄鋼品など原材料価格の上昇による内外経済への影響、利上げが継続している米国経済や為替の動向など不安定な要素はありますが、堅調な設備投資などに支えられ、経常利益は443億円（前期比2.7%増）、当期純利益は280億円（前期比11.5%増）を見込んでいます。

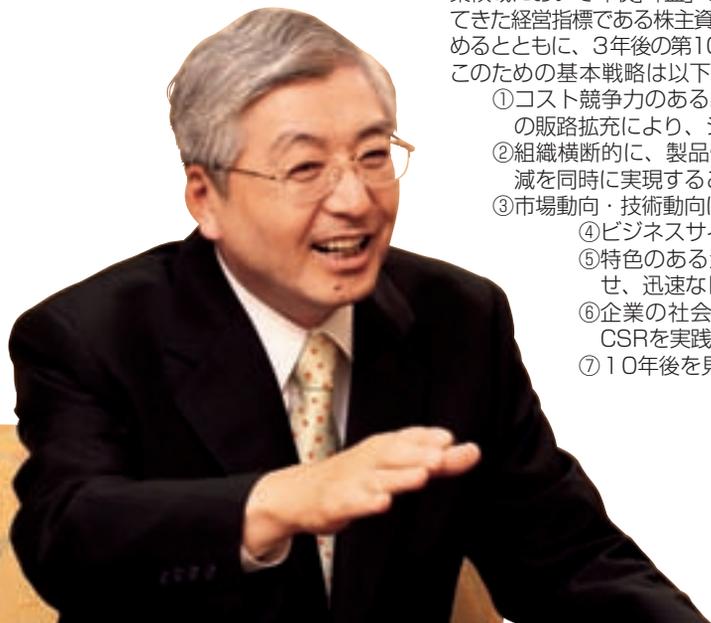
■中長期的な事業展開について 〈第4次中期経営計画を策定〉

当社グループは、第4次中期経営計画を策定しこの第107期からスタートいたしました。この中期経営計画では「世界の人々から愛され、親しまれる企業へ」をキャッチフレーズに掲げ、全ての事業領域において「収」「益」ともに偏りが無い事業基盤を構築することを念頭に、これまで目標としてきた経営指標である株主資本当期純利益率（ROE）8%、売上高営業利益率10%の維持拡大に努めるとともに、3年後の第109期には連結売上高3,500億円、連結営業利益500億円を目指します。このための基本戦略は以下のとおりです。

- ①コスト競争力のある製品をもって、顧客満足度を向上させ、未開拓客先・未開拓エリアの販路拡充により、シェアの拡大を図ります。
- ②組織横断的に、製品情報・技術情報を共有し、「一歩先行くモノ作り」（高品質と原価低減を同時に実現すること）に、すばやく反映します。
- ③市場動向・技術動向に目を配り、新規製品・新規事業を迅速且つ着実に結実させます。
 - ④ビジネスサイクルの短縮により、事業の全体効率の向上を図ります。
 - ⑤特色のある海外製造拠点・販売拠点を海外ネットワークとして有機的に結合させ、迅速なレスポンスを実現します。
 - ⑥企業の社会的責任を自覚して、法令遵守、環境保全等、よき企業市民としてCSRを実践します。
 - ⑦10年後を見据えて、次世代の当社グループを支える人材育成に注力します。

〈グローバル化の推進〉

当社グループは、売上高に占める海外の比重が約80%と高く、為替変動が業績に与える影響を無視できず、今後は主力商品の世界シェアとコスト競争力をさらに高める必要があります。世界ネットワークを活用して得られるメーカー需要などの営業情報と技術開発組織の有機的結合により、商品開発とコストダウン、そして強力できめ細かな企画力による世界最適生産・調達に向け、組織改革と目標設定を行っています。



成長市場としての存在感を強めているBRICs地域は当社グループにとっても無視できない存在です。当該地域のうちブラジルでは、1959（昭和34）年にブラジル特殊陶業(株)を設立し、当社グループの中で国外では唯一のスパークプラグー貫生産工場として南米で揺るぎない地位を築きました。今後さらに伸びが想定される新車組付用プラグ、各種センサに対応するため、品質面・信頼性の向上に取り組んでいます。中国では2003（平成15）年に上海特殊陶業(株)を設立し、スパークプラグの組立を行っており、新たに自動車用酸素センサの生産も立ち上げるべく準備を進めています。ロシアでは、これまで当社および欧州NGKスパークプラグ(株)が対応してきました。このたび、販売力強化に向けて新たにモスクワに事務所を開設したところです。インドでは、デリーに事務所を開設して工場進出を含めた市場調査を始めました。

スパークプラグ・酸素センサの世界トップシェアの維持拡大を図るため、これらの活動を一層スピードアップしてまいります。

〈バランス重視の設備投資〉

当社グループは、グロープラグをはじめとしたディーゼルエンジン用部品、MPUや通信デバイス用途をはじめ幅広い半導体分野で利用されるICパッケージや半導体製造装置部品、医療分野における独自のセラミック応用製品を重点戦略商品と位置づけています。これらの事業を育成するため、将来の事業バランスを考慮して、より付加価値を高める重点的で効率的な設備投資を進めていきます。

■配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当の継続を基本方針としてきました。一方、最近の好業績を背景に、収益に応じた利益の還元も重要と考え、当面、連結での配当性向20%以上を目処とし、設備投資計画などを総合的に考慮して配当金額を決定してまいります。この方針のもと第106期の配当は、通期で1株あたり20円とし、昨年より4円の増配といたしました。

■社会に開かれた企業として

企業への評価は、かつてのように経済的な価値のみで決まるものではありません。今日では、反社会的な行為があれば、厳しい社会の目にさらされます。信頼され、尊敬される企業は、社会に開かれた存在として、社会とともに歩む決意が望まれています。

当社グループでは、1996年に企業理念、1998年に企業行動規範を制定し、企業として進むべき方向性を確認しました。また、2004年には「行動規範ガイドブック」を発行して従業員の行動の根拠や基準を明確化しました。全役員、全従業員が法令や倫理に対する意識を向上させ、個人の行動が企業の行動でもあることを啓蒙し続けています。

情報開示については、経営指標や製品に関する情報を開示するだけでなく、企業を取り巻くさまざまなリスク要因についても開示し、透明性の向上に努めてまいります。

当社の大切なステークホルダーである株主の皆様のご理解とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

取締役社長

加藤倫朗

①小牧第1工場竣工

当社の主力工場である小牧工場（愛知県小牧市）第1工場新建屋が2005年12月に竣工、稼働いたしました。

環境への配慮や省エネの観点から欧州を中心にディーゼルエンジンの普及が進んでいますが、この新第1工場の完成によりディーゼルエンジン用のグローブラグ、関連製品の集中生産基地として、世界の自動車メーカーからの需要増に応えるべく供給体制を整えてまいります。



②小牧第14工場建設決定



【小牧第14工場の概要】

所在地：愛知県小牧市大字岩崎2808（小牧工場敷地内）
 生産品目：MPU用ICパッケージ
 構造・規模：鉄骨造5階建 160m×80m
 建築面積（延床面積）：約54千㎡
 投資額：約300億円
 竣工予定：2007年6月

BRICs（ブラジル・ロシア・インド・中国）地域をメインとしたパソコン需要の急増に伴い、当社主力製品のひとつであるMPU用ICパッケージの客先からの増産要請に対応するため、MPU用ICパッケージの一貫生産工場棟の建設を決定いたしました。この新工場棟は小牧工場としては14番目の工場棟になります。工場竣工後は段階的に設備の増強を図り、多層化・小型化といった、ますます高度化する要求に迅速かつ柔軟に対応できる生産体制を構築するとともに、技術力・製品力で業界をリードしてまいります。

③自動車用酸素センサ増産のため工場増築決定

地球規模の環境保全意識の高まりや堅調な自動車生産に支えられ、酸素センサの需要は順調に増加しております。この需要増への対応として、酸素センサの主力工場である、当社関連会社のセラミックセンサ(株)第2工場の増築・拡張を決定いたしました。



【セラミックセンサ第2工場増築の概要】

所在地：愛知県小牧市大字横内字中横内391-5（セラミックセンサ(株)敷地内）
 生産品目：酸素センサ
 構造・規模：鉄骨造5階建 52.5m×48m
 建築面積（延床面積）：約12.3千㎡
 投資額：約56億円
 竣工予定：2007年3月

④新商品・新技術

1) 生体活性骨ペースト



高齢化が進む中で骨粗鬆症による骨折や骨腫瘍等の骨疾患患者は年々増加しておりますが、その治療に使用される生体活性骨ペーストの量産出荷を開始いたしました。

当社の骨ペーストは早期の硬化性、耐崩壊性の改善、良好な操作性、高い生体親和性、簡便な作業性などの特徴があり、おかげさまで出荷開始以来たいへんご好評を頂いております。今後も、当社セラミック技術を活かした高度医療社会の実現に貢献する製品の開拓を進めてまいります。

2) 触媒一体化水素製造モジュールの開発

当社は、東京ガス株式会社と共同で、水素分離型改質器用「触媒一体化水素製造モジュール」の開発に成功しました。



天然ガス等の炭化水素を改質して水素を製造する技術は工業的に重要な技術であり、水素ステーション用水素製造装置や、燃料電池用水素製造装置、工業用オンサイト水素製造装置として注目を集めています。この度開発した触媒一体化水素製造モジュールはコンパクトかつ高性能であり、従来に比べて改質器の設置面積を4分の1、体積で6分の1程度にすることが可能で、水素ステーションなどのインフラ普及が大きく前進するものと期待が寄せられています。

今後も本格的な実用化技術の更なる研究開発を進めてまいります。

⑤海外拠点の拡充

飛躍的な経済発展を見せるBRICs地域での事業拡大・強化とスピーディな対応や本格進出を前提とした情報収集などを目的に、海外駐在員事務所を開設しました。既に進出済みのブラジル・中国とあわせ重要市場を網羅する一大グローバルネットワークとなります。

これらを新たなる世界戦略の重要拠点と位置づけ、更なるビジネス展開を進めてまいります。

- 1) ベトナム (2005年6月9日開設)
- 2) モスクワ (2005年8月1日開設)
- 3) インド (2005年10月25日開設)

⑥中日産業技術賞受賞

当社の全領域空燃比センサシステムが第19回中日産業技術賞 経済産業大臣賞を受賞いたしました。この賞は優れた産業技術や製品開発の成果を顕彰するため中日新聞社が1986年度に創設したもので、大賞である経済産業大臣賞は、過去その時々最先端の開発技術が受賞しており、当社からは初の応募で経済産業大臣賞受賞という栄に浴すこととなりました。今回の受賞は「排気ガス浄化や低燃費に役立つセラミック応用技術」として当社の技術力が高く評価されたものです。

2006年1月24日に名古屋観光ホテルで行われた贈呈式では経済産業省から片山さつき政務官が出席され、加藤社長へ賞状・メダルが授与されました。



全領域空燃比センサ ASIC



当期業績と財務指標の推移

当期の業績

連結	売上高	2,848億84百万円 (前期比18.1%増)
	経常利益	431億30百万円 (前期比55.6%増)
	当期純利益	251億4百万円 (前期比46.4%増)
	1株当たり 当期純利益	112円82銭

単独	売上高	2,503億61百万円 (前期比18.9%増)
	経常利益	361億6百万円 (前期比60.5%増)
	当期純利益	210億95百万円 (前期比50.3%増)
	1株当たり 当期純利益	94円75銭

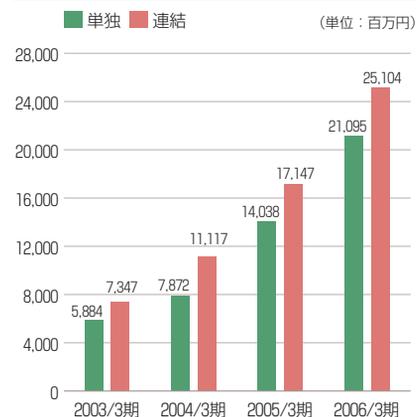
売上高



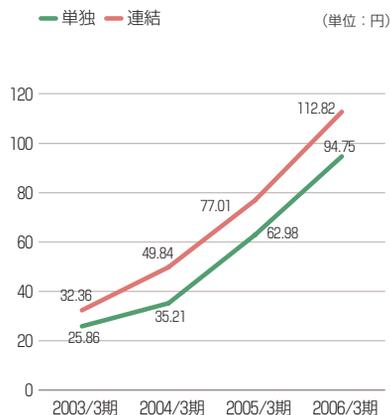
経常利益



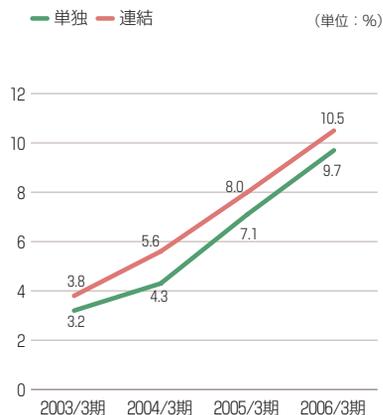
当期純利益



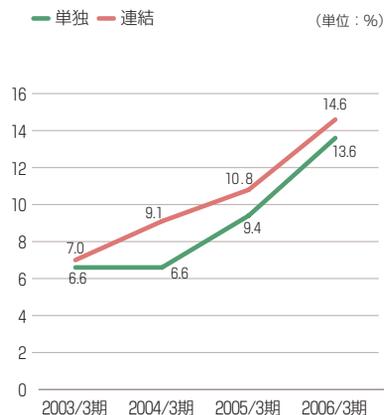
1株当たり当期純利益



株主資本当期純利益率 (ROE)



売上高営業利益率



事業別の概況

自動車関連事業

売上高

連結 1,652億79百万円（前期比11.1%増）

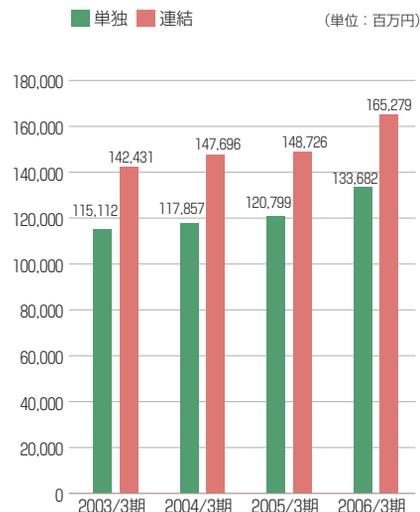
単独 1,336億82百万円（前期比10.7%増）

自動車関連では、中国をはじめ東南アジア、東欧、中南米などの新興市場における新車販売の拡大を受け、日系自動車メーカーの海外生産量の拡大もあいまってスパークプラグの出荷が増加しました。欧州においてはディーゼルエンジン車需要の高まりを反映してグロープラグ、特に環境に配慮した急速昇温型のセラミックグロープラグが順調に伸びました。

自動車用センサについては、主力であるジルコニア酸素センサが国内・韓国・欧州の好調な自動車生産とともに、新規採用の拡大により出荷が増加しました。また、環境先進国である欧米を中心に、より精密な排ガス制御が可能な全領域タイプの酸素センサが大幅な伸びをみせました。ノックセンサや広範囲排気温度センサなどの重点商品も売上拡大に寄与しました。

この結果、当事業の売上高は上記の通りとなり、営業利益は293億56百万円（前期比17.7%増）となりました。

自動車関連事業売上高



情報通信・セラミック関連事業売上高



情報通信・セラミック関連事業

売上高

連結 1,160億32百万円（前期比29.2%増）

単独 1,131億64百万円（前期比30.0%増）

主力である半導体部品は、好調なモバイルパソコン需要をはじめ、BRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）など新興市場における情報通信機器の販売が急拡大する中、MPU用ICパッケージや半導体テスト用基板の出荷が大幅に増加しました。また、各種ディスプレイ用デバイス用途など新分野のセラミック製品の売上も伸びました。

機械工具は、前年度末より生産を開始したポーランドNTK(株)が軌道に乗る一方、販売面でも主要な客先である自動車業界、機械業界の好調さを受け、順調に推移しました。医療用酸素濃縮器は、業界最大手へのOEM納入が本格化して大幅に売上増となったほか、バイオセラミックス商品の生体活性骨ペーストも順調に販売を伸ばしています。

この結果、当事業の売上高は上記の通りとなり、営業利益は121億14百万円（前期比10.6倍）となりました。

その他の事業

売上高

連結 36億44百万円（前期比34.1%増）

単独 35億13百万円（前期比33.3%増）

自動車関連事業

モータリゼーションを取り巻く環境は、自動車の利便性・快適性・機能性だけでなく、資源保護や環境保全を含めた多面的な開発姿勢が強く求められています。こうした要望に応じて、当社ではスパークプラグをはじめ、酸素センサ、ノックセンサなどの幅広い自動車部品を開発してきました。スパークプラグ

は現在では国内外のほとんどの自動車メーカーに採用され、排気ガス浄化システム用酸素センサとともに世界トップクラスのシェアを誇っています。

自動車関連事業 主要製品

●スパークプラグ

●ディーゼルエンジン用グロープラグ

●ノックセンサ

●ジルコニア酸素センサ

●全領域空燃比センサ

●ロケット用プラグ

●レース用プラグ

●プラグコード・プラグキャップ

●各種プラグ

●各種センサ等

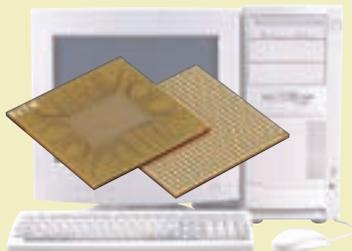
情報通信・セラミック関連事業

情報通信の飛躍的な発展に伴う多種多様なニーズに応える総合ICパッケージメーカーとして、セラミックやオーガニック材料を使い、パソコンの心臓部であるMPU（マイクロプロセッサ）用や携帯電話をはじめとする通信機器に搭載されるデバイス用のパッケージを各種取り揃えています。また長寿命、高精度加工を実現する切削工具をはじめ、各種セラミック応用製品

は、従来からの産業・輸送分野に加えて人工骨といったバイオセラミックスや在宅酸素療法用酸素濃縮器などの医療分野、イオン発生器用セラミック部品やセラミックヒータなどの生活関連分野、そして半導体製造装置関連部品など幅広く使用されています。

情報通信・セラミック関連事業 主要製品

●オーガニックICパッケージ



●水晶デバイス・SAWフィルター用パッケージ



●アンテナスイッチモジュール



●酸素濃縮器



●バイオセラミックス



●応用セラミック



●半導体用部品



●機械工具



●電子部品

連結貸借対照表

百万円

資 産 の 部			負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部		
科 目	2006年3月末	2005年3月末	科 目	2006年3月末	2005年3月末
流 動 資 産	210,902	178,917	流 動 負 債	84,290	55,880
現金及び預金	64,327	61,432	買掛金	29,513	22,660
受取手形・売掛金	54,243	41,960	短期借入金	10,462	8,319
有価証券	24,070	15,320	1年以内に償還予定の社債	10,000	—
たな卸資産	51,127	45,367	未払法人税等	11,044	6,885
繰延税金資産	8,505	7,562	繰延税金負債	215	208
その他	8,853	7,460	その他	23,055	17,806
貸倒引当金	△224	△187	固 定 負 債	41,178	45,217
固 定 資 産	175,332	144,191	社債	16,099	27,000
有 形 固 定 資 産	100,691	88,937	退職給付引当金	14,186	13,743
建物及び構築物	41,087	36,300	役員退職慰労引当金	985	1,091
機械装置及び運搬具	36,557	33,063	連結調整勘定	—	40
土地	16,385	15,200	繰延税金負債	9,042	2,658
建設仮勘定	4,744	2,344	その他	864	682
その他	1,917	2,029	負 債 合 計	125,468	101,097
無 形 固 定 資 産	780	137	少 数 株 主 持 分	1,552	1,078
ソフトウェア	199	137	資 本 金	47,869	47,869
連結調整勘定	581	—	資 本 剰 余 金	55,167	54,826
投 資 其 他 の 資 産	73,860	55,117	利 益 剰 余 金	138,202	117,394
投資有価証券	70,884	52,392	その他有価証券評価差額金	27,831	15,352
繰延税金資産	1,173	1,034	為 替 換 算 調 整 勘 定	△3,403	△7,701
その他	1,894	1,797	自 己 株 式	△6,454	△6,808
貸倒引当金	△91	△107	資 本 合 計	259,213	220,932
資 産 合 計	386,235	323,108	負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	386,235	323,108

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

百万円

科 目		2006年3月期	2005年3月期
経常損益の部	営業収益	284,884	241,185
	売上高	284,884	241,185
	営業費用	243,371	215,095
	売上原価	203,337	177,785
	販売費及び一般管理費	40,033	37,309
	営業利益	41,513	26,090
	営業外収益	4,279	3,844
	受取利息及び受取配当金	1,295	952
	その他	2,984	2,891
	営業外費用	2,662	2,223
支払利息	674	647	
その他	1,988	1,576	
経常利益	43,130	27,711	
特別損益の部	特別利益	26	28
	固定資産売却益	16	26
	投資有価証券売却益	10	2
	特別損失	4,125	1,573
	固定資産処分損	633	1,444
	固定資産減損損失	737	—
	固定資産臨時償却費	2,749	—
	投資有価証券評価損	—	128
	投資有価証券売却損	5	—
	税金等調整前当期純利益	39,032	26,166
法人税、住民税及び事業税	16,926	10,455	
法人税等調整額	△3,161	△1,480	
少数株主利益	162	44	
当期純利益	25,104	17,147	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

科 目	2006年3月期	2005年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,749	36,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,691	△41,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,457	△1,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,179	△119
現金及び現金同等物の増減額	2,779	△7,697
現金及び現金同等物の期首残高	40,524	48,222
現金及び現金同等物の期末残高	43,304	40,524

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社 (2006年3月期 31社)

米国特殊陶業株式会社
 米国テクノロジー株式会社
 英国NGKスパークプラグ株式会社
 欧州NGKスパークプラグ有限公司
 ヨーロッパ特殊陶業株式会社
 ブラジル特殊陶業有限公司
 オーストラリアNGKスパークプラグ株式会社
 株式会社日特製作所
 株式会社神岡セラミック
 株式会社飯島セラミック
 株式会社中津川セラミック
 他20社

持分法適用会社 (2006年3月期 3社)

友進工業株式会社
 セラミックセンサ株式会社
 東海耐摩工具株式会社

単独貸借対照表

百万円

資 産 の 部			負 債 及 び 資 本 の 部		
科 目	2006年3月末	2005年3月末	科 目	2006年3月末	2005年3月末
流 動 資 産	163,460	140,011	流 動 負 債	67,967	41,862
現金及び預金	41,913	44,529	買掛金	30,255	23,552
受取手形	750	752	1年以内に償還予定の社債	10,000	—
売掛金	57,566	46,423	未払金	7,095	2,634
有価証券	23,754	15,320	未払法人税等	10,132	6,310
製品	12,007	10,223	未払費用	9,645	8,250
原料及び材料	1,247	890	預り金	838	1,115
仕掛品	10,756	9,126	固 定 負 債	37,908	42,325
未収入金	9,959	7,994	社債	16,099	27,000
繰延税金資産	4,369	3,677	繰延税金負債	8,701	2,335
その他	1,143	1,078	退職給付引当金	12,122	11,898
貸倒引当金	△7	△5	役員退職慰労引当金	985	1,091
固 定 資 産	174,356	146,248	負 債 合 計	105,876	84,188
有 形 固 定 資 産	84,495	75,456	資 本 金	47,869	47,869
建物	32,838	28,669	資 本 剰 余 金	55,167	54,826
構築物	1,836	1,906	資本準備金	54,824	54,824
機械及び装置	30,860	28,711	その他資本剰余金	342	1
車両運搬具	86	82	自己株式処分差益	342	1
工具器具備品	917	1,110	利 益 剰 余 金	107,811	91,008
土地	14,112	13,195	利益準備金	5,837	5,837
建設仮勘定	3,842	1,780	別途準備金	65,090	62,090
無 形 固 定 資 産	104	69	特別償却準備金	491	487
ソフトウェア	104	69	当期末処分利益	36,391	22,594
投資その他の資産	89,756	70,722	その他有価証券評価差額金	27,547	15,175
投資有価証券	67,627	49,840	自 己 株 式	△6,454	△6,808
子会社株式等	20,952	19,219	資 本 合 計	231,940	202,071
その他	1,266	1,768	負 債 資 本 合 計	337,816	286,260
貸倒引当金	△90	△106			
資 産 合 計	337,816	286,260			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独損益計算書

百万円

科 目		2006年3月期	2005年3月期
経常損益の部	営業収益	250,361	210,496
	売上高	250,361	210,496
	営業費用	216,353	190,615
	売上原価	192,498	168,285
	販売費及び一般管理費	23,855	22,330
	営業利益	34,008	19,881
	営業外収益	4,436	4,694
	受取利息及び配当金	1,785	1,810
	その他	2,650	2,884
	営業外費用	2,338	2,078
支払利息	219	351	
その他	2,118	1,727	
経常利益	36,106	22,496	
特別損益の部	特別利益	130	20
	固定資産売却益	120	18
	投資有価証券売却益	10	2
	特別損失	4,023	1,458
	固定資産処分損	615	1,330
	固定資産減損損失	737	—
	固定資産臨時償却費	2,665	—
	投資有価証券評価損	—	128
	投資有価証券売却損	5	—
	税引前当期純利益	32,213	21,058
	法人税、住民税及び事業税	13,912	8,284
法人税等調整額	△2,794	△1,264	
当期純利益	21,095	14,038	
前期繰越利益	17,289	9,885	
中間配当額	1,992	1,329	
当期末処分利益	36,391	22,594	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

百万円

	2006年3月期	2005年3月期
当期末処分利益	36,391	22,594
特別償却準備金取崩額	144	130
合 計	36,536	22,724
これを次のとおり処分いたします。		
特別償却準備金	198	134
別途準備金	3,000	3,000
利益配当金	2,442	2,214
役員賞与金	98	85
(うち、監査役賞与金)	(7)	(7)
次期繰越利益	30,797	17,289

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり配当金

	(2006年3月期)	(2005年3月期)
利益配当金		
普通配当	11円00銭	9円50銭
特別配当	—	50銭
計	11円00銭	10円00銭
中間配当金		
普通配当	9円00銭	5円50銭
特別配当	—	50銭
計	9円00銭	6円00銭
年間配当金	20円00銭	16円00銭

株式の状況

発行可能株式総数 390,000,000株
 発行済み株式の総数 229,544,820株
 株主数 14,932名

大株主

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	25,900	11.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	17,881	7.79
第一生命保険相互会社	16,752	7.30
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.01
日本生命保険相互会社	10,179	4.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,039	4.37
全国共済農業共同組合連合会	5,228	2.28

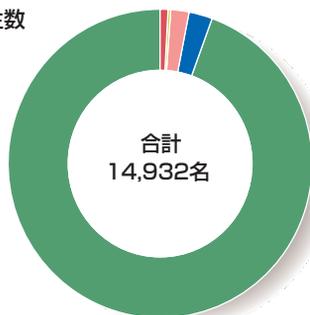
(注) 1. 当社は、平成18年3月31日現在自己株式を7,508千株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、全て信託業務に係る株式であります。

株価および株式売買高（東京証券取引所）



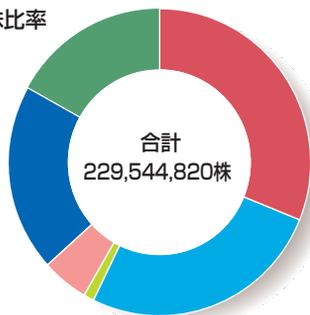
所有者別株式分布状況

株主数



- 金融機関 127名(0.86%)
- 証券会社 45名(0.30%)
- その他国内法人 321名(2.15%)
- 外国法人・外国人 371名(2.49%)
- 個人・その他 14,068名(94.20%)

持株比率



- 金融機関 31.29%(71,833,487株)
- 信託業務に係る株式関係 26.11%(59,923,075株)
- 証券会社 0.99%(2,280,645株)
- その他国内法人 5.14%(11,797,190株)
- 外国法人・外国人 19.80%(45,440,379株)
- 個人・その他 16.67%(38,270,044株)

商号 日本特殊陶業株式会社
 英文社名 NGK SPARK PLUG CO., LTD.
 本社所在地 〒467-8525
 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
 設立年月日 1936年(昭和11年)10月26日
 資本金 478億69百万円
 主要生産品目

自動車関連部門

スパークプラグ(自動車用、航空機用、農林・船舶・産業用、レース用)、ディーゼルエンジン用グロープラグ
 自動車用各種センサ(酸素センサ、ノックセンサ 他)
 セラミック製エンジン部品 他

情報通信・セラミック関連部門

半導体用部品 セラミック積層型ICパッケージ、オーガニックICパッケージ、通信デバイス用パッケージ、アンテナスイッチモジュール 他

電子部品 誘電体フィルタ、誘電体共振器、着火装置、超音波振動子 他

機械工具 セラミック切削工具、サーメット切削工具、コーティング切削工具、微粒子超硬合金切削工具 他

応用セラミック 真空スイッチ容器、半導体製造装置用部品、セラミックヒータ、シリコン整流器用容器、オゾナイザ、バイオセラミックス、医療用酸素濃縮器 他

主な事業所 工場：本社工場、小牧工場、鹿児島宮之城工場、伊勢工場
 支社：東京
 営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌

従業員 5,106人(就業人員)

役員 (2006年6月29日現在)

代表取締役 取締役社長	加藤 倫 朗
代表取締役 取締役副社長	橋 本 玄次郎
専務取締役	加藤 直 幹
専務取締役	堀 田 郁 雄
専務取締役	瀧 口 和 夫
専務取締役	稲 垣 純
常務取締役	春日井 明 世
常務取締役	千 成 篤 博
常務取締役	川 原 一 雄
常務取締役	安 部 親 礼
常務取締役	小 原 道 郎
常務取締役	奥 村 隆 夫
取 締 役	川 満 務
取 締 役	山 田 茂 保
取 締 役	八 木 秀 明
取 締 役	加 川 純 一
取 締 役	岩 田 康 寛
取 締 役	伊 藤 恒 夫
取 締 役	山 田 哲 正
取 締 役	川 下 政 美
取 締 役	住 田 克 彦
取 締 役	二 村 精 二
取 締 役	多 島 容
常勤監査役	牛 田 由 郎
常勤監査役	津 田 修
監 査 役	大 塚 鎔 子
監 査 役	藤 岡 瑠 晃

ホームページのご案内

日本特殊陶業のホームページでは、IR(投資家向け)情報や、スパークプラグをはじめとする製品に関するご案内などの情報を掲載してお待ちしております。是非一度ご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>



C S R (企業の社会的責任) への取り組み

■CSRへの取り組み

企業の存続は、社会の様々なステークホルダーからの信頼で成り立ちます。企業が果たしている社会的役割も、社会での健全な発展があって初めて可能となります。これからの時代は適切な情報開示とモラルに秀でた透明性のある企業経営を目指すこと、健全な経済効果を追求すること、これらのバランスを重視することが必要になってきます。

当社グループは、1996年に企業理念、1998年に企業行動規範を制定し、企業として進むべき方向を示しました。そして2004年11月には『行動規範ガイドブック』を発行して、的確な判断、適切な行動をするための基準を明確にしました。

■環境に関する基本理念

当社グループは、社会、地球環境との調和を図りつつ、環境にやさしいNGKスパークプラグ/NTKニューセラミック製品のライフサイクル全体を通して、良品主義のもと新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。

この達成のため、環境方針に基づく環境行動計画を策定し、総員参加により持続可能な社会、経営の発展を追求し、信頼される企業として社会的な役割・責任を担っていきます。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日 期末配当:3月31日、中間配当:9月30日
上記のほか、別途定めることもあります。

定時株主総会 6月中に開催
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載します。
<http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便番号 171-8508
東京都豊島区西池袋1丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

(電話お問合せ)
郵便物送付先)

同事務取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
株式事務のお 変更届(住所・氏名・お届出印など)
手続について 名義書換請求
単元未満株式の買取請求および買増
請求
配当金振込指定書
など、三菱UFJ信託銀行にて受付け
ております。
どうぞご利用ください。
なお、証券保管振替制度をご利用さ
れている場合は、お取引の証券会社
にお申し出ください。

上場取引所 東京・名古屋(第1部)



日本特殊陶業株式会社

愛知県名古屋市長穂区高辻町14番18号

<http://www.ngkntk.co.jp/>